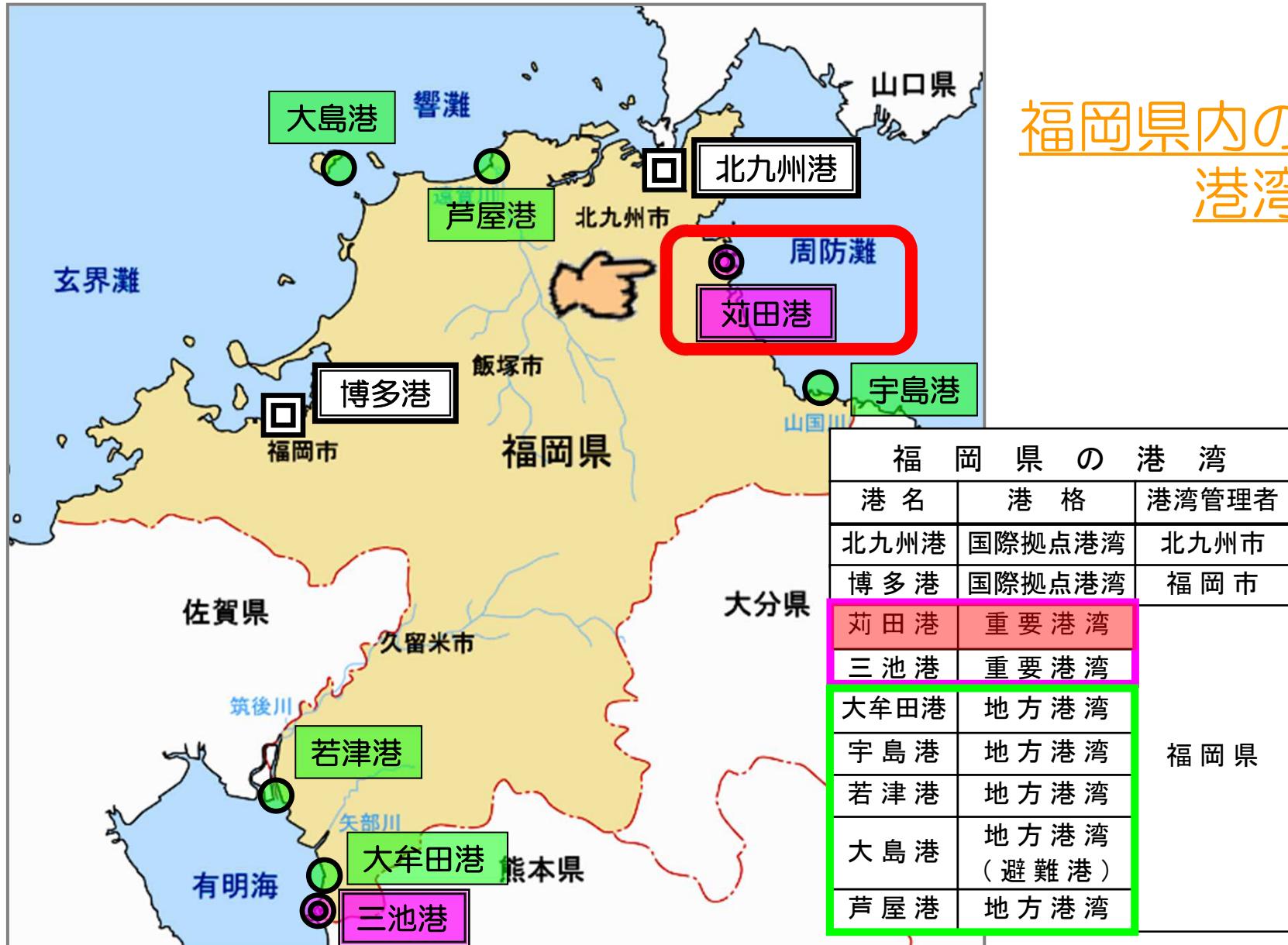


第39回福岡県地方港湾審議会

苅田港



福岡県内の 港湾



苅田港の概要

苅田港の地区について



苅田港周辺の社会基盤整備状況

- ▶ 苅田港周辺では社会基盤の整備が進められており、陸海空の輸送拠点が近接した物流の結節点として高いポテンシャルを有している。



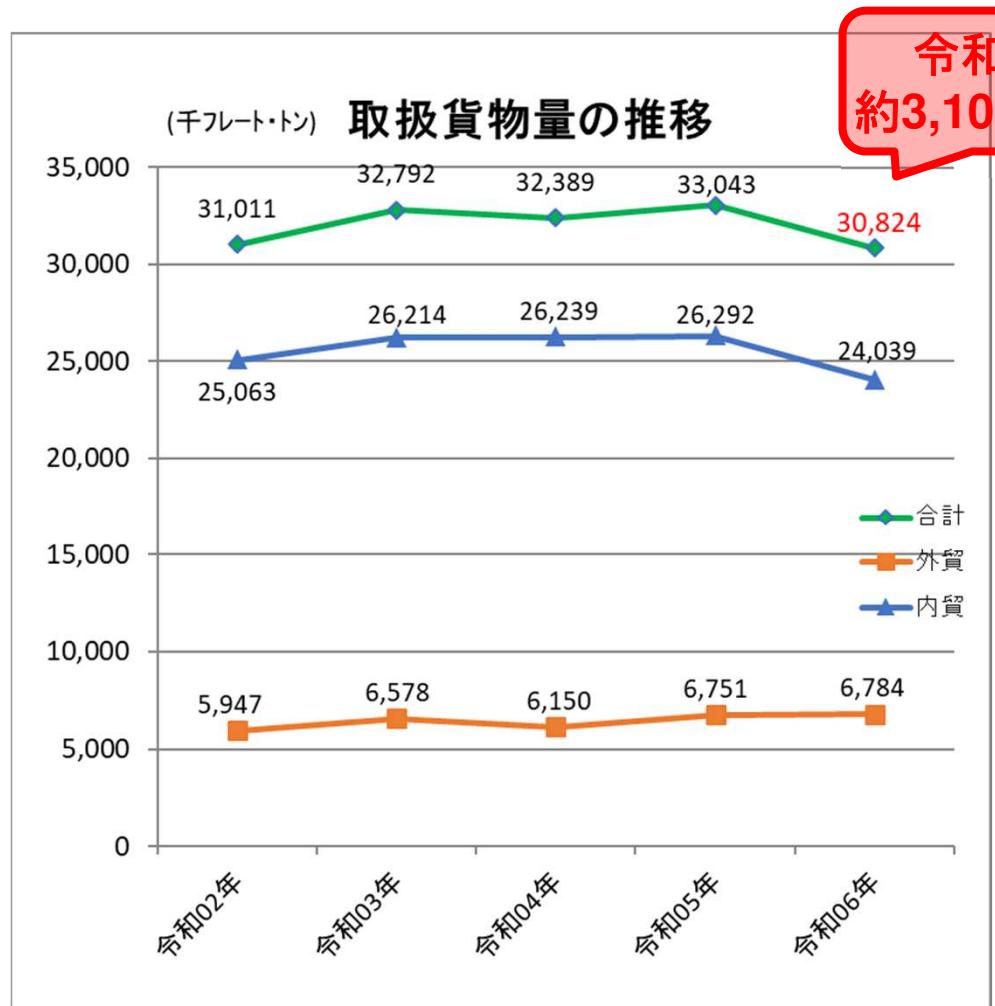
苅田港の立地企業

- 苅田港周辺には自動車や電力等の国内主要産業が立地
- 脱炭素化に向けた取組により、それに資する企業進出が期待される

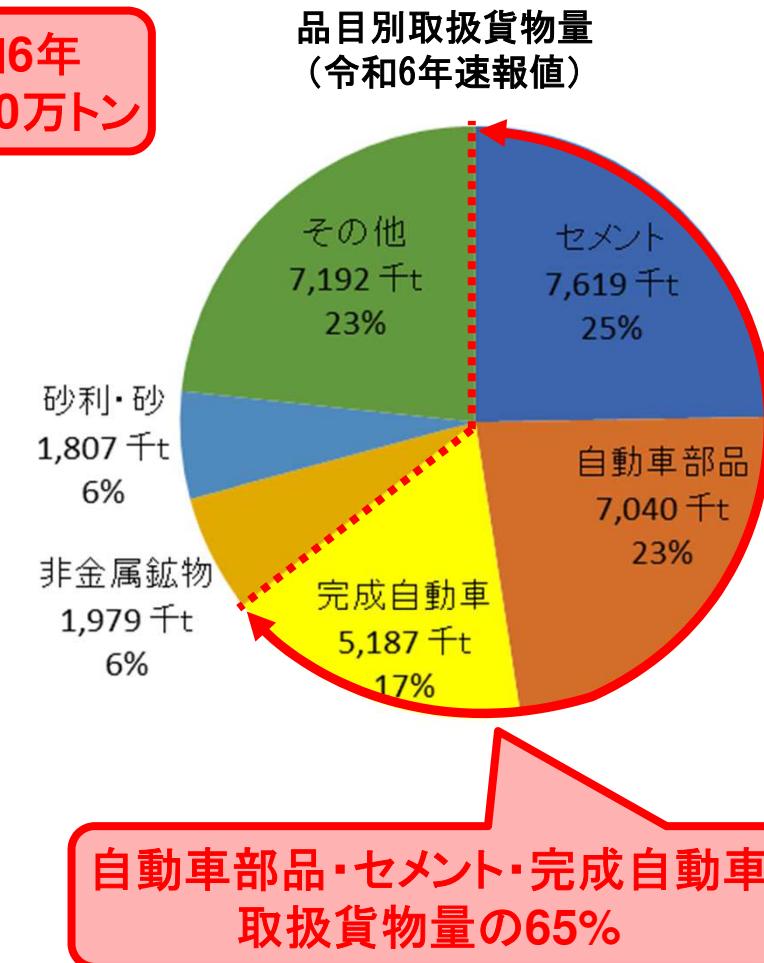


苅田港の概要（取扱貨物）

- 主な取扱貨物は自動車部品、セメント、完成自動車などで約6割
- 令和6年の取扱貨物量は約3,100万トン、福岡県港湾取扱貨物の約9割



令和6年
約3,100万トン



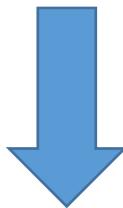
自動車部品・セメント・完成自動車
取扱貨物量の65%

苅田港港湾計画改訂に向けて

【情報提供】

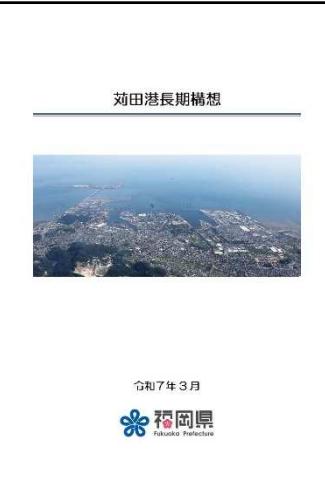
長期構想策定

港湾計画改訂に向け、
概ね20年～30年後の苅田港の
将来像とそれを実現する基本戦略
や取組方針を策定



港湾計画改訂

長期構想を基に、社会情勢の変化
や港湾利用者のニーズに対応した
計画とするため改訂が必要



※下記URLまたは二次元コードから
ご覧いただけます。
WEB検索は、「苅田港長期構想策定」

苅田港長期構想策定



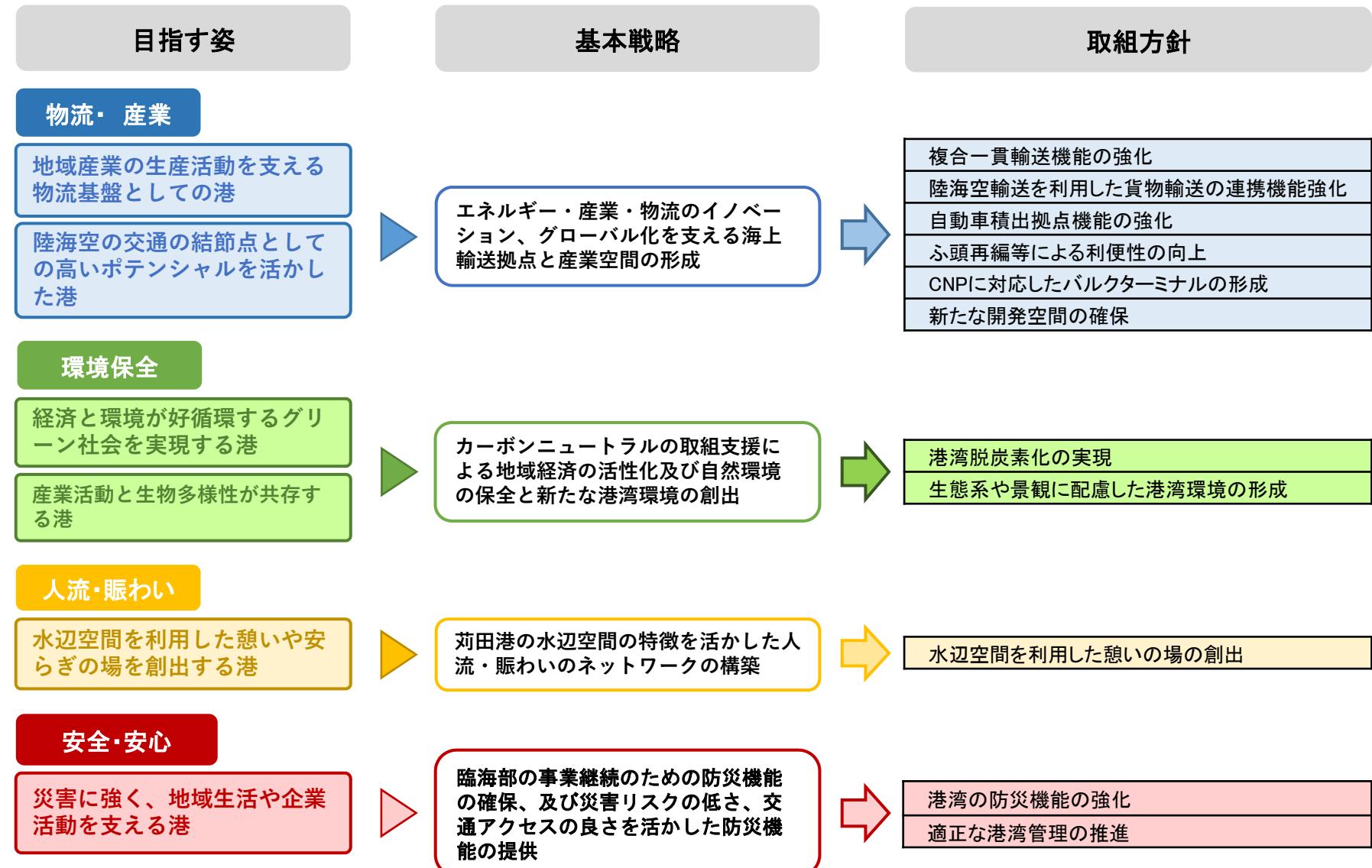
URL : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/kandako-tyokikousou.html>

参考

港湾計画とは
港湾の開発、利用及び保全の
指針となる基本的な計画。
通常10年～15年程度の将来を
目標年次として策定する。

長期構想とは
20年～30年後の長期的視点か
ら港湾空間利用の基本的な
方向性を定めるもの。
※港湾計画に先立ち策定

苅田港長期構想の概要



【議案 1】

苅田港港湾計画の軽易な変更

【土地利用計画（新松山地区）の変更】

- ・工業用地の位置付け

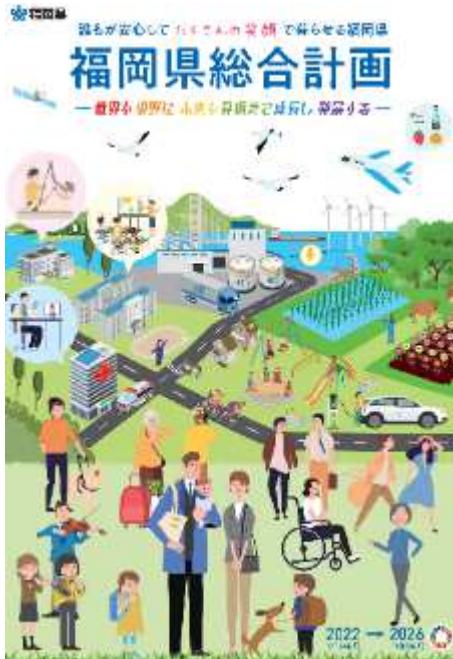
港湾計画変更の理由：福岡県総合計画

◆福岡県総合計画p49より（計画期間：令和4～8年度）

基本方向 世界を視野に、未来を見据えて成長し、発展する

基本施策 世界から選ばれる福岡県の実現

- ・国内外からの戦略的企業誘致



2 施策の方向

(1) 概要

- ・アジアとの地理的近接性、充実した交通インフラ、優れた技術を持つ企業の集積や豊富な人材といった本県が持つ大きな優位性を活かし、またデジタル化や脱炭素化等、世界的な産業構造の変化を捉えた企業誘致やその受け皿の整備を進めることによって、世界から選ばれる福岡県の実現を目指します。

(2) 具体的な取組

① 戦略的企業誘致の推進と受け皿整備の促進【4 (1), 21 (1)】

- ・これからデジタル社会における全ての産業の根幹となり、またエネルギー・環境制約を克服するための大規模データセンターや半導体等のデジタル産業をはじめとした企業等を、地域のポテンシャルを最大限に活かし、国内外から戦略的に誘致します。

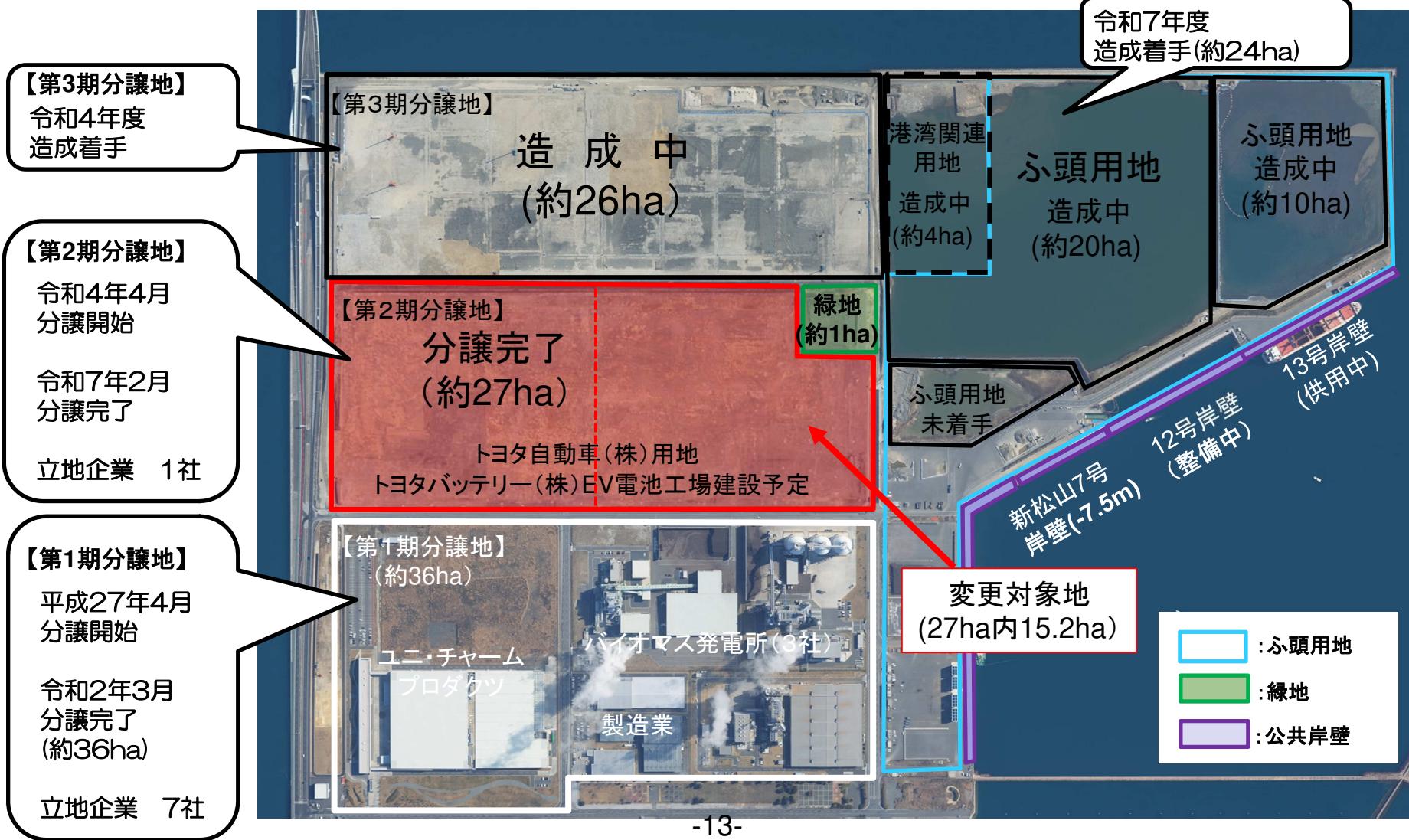


◆デジタル化や脱炭素化など、世界的な産業構造の変化を捉えた企業誘致やその受け皿整備を進める

◆令和8年度迄に福岡県内で公的な産業用地の整備着手100haを目標

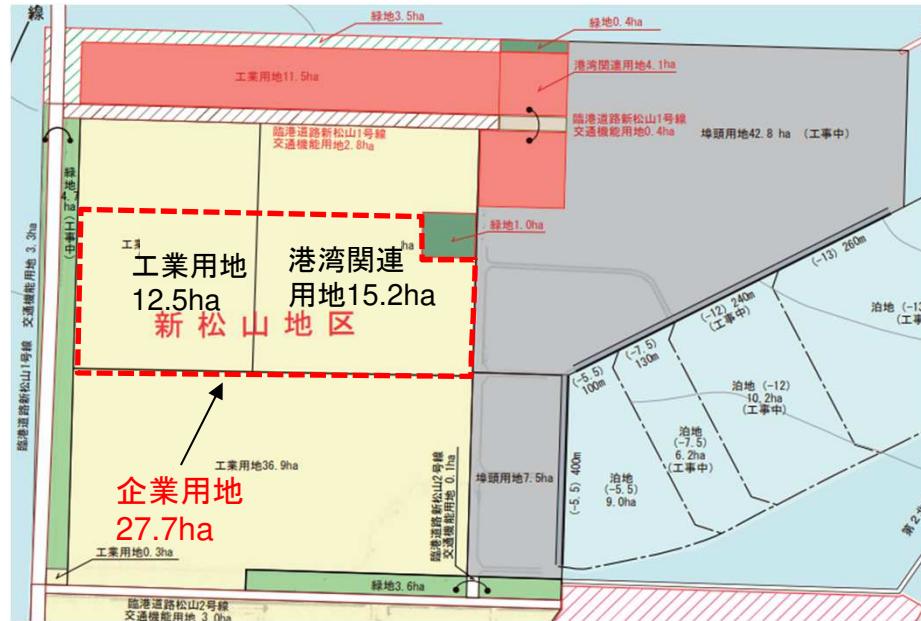
港湾計画変更の理由：分譲状況（新松山地区）

- 第1期分譲地約36haは、約5年で完売
- 令和4年4月に第2期分譲地を分譲開始し、令和7年2月に完売
- 令和4年度第3期分譲地の造成着手し、残事業用地も随時造成中

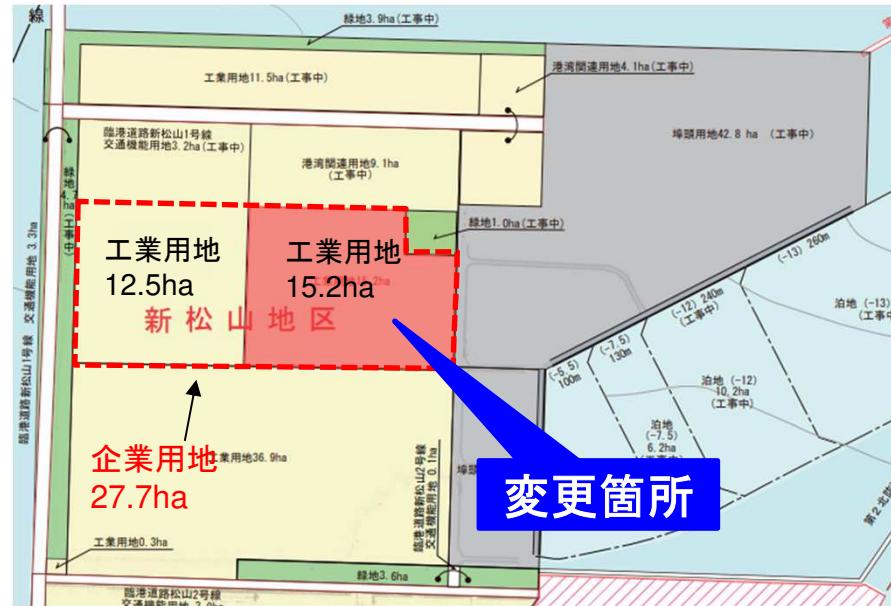


港湾計画の変更内容（新松山地区）

【既定計画】



【今回計画】



主な変更内容

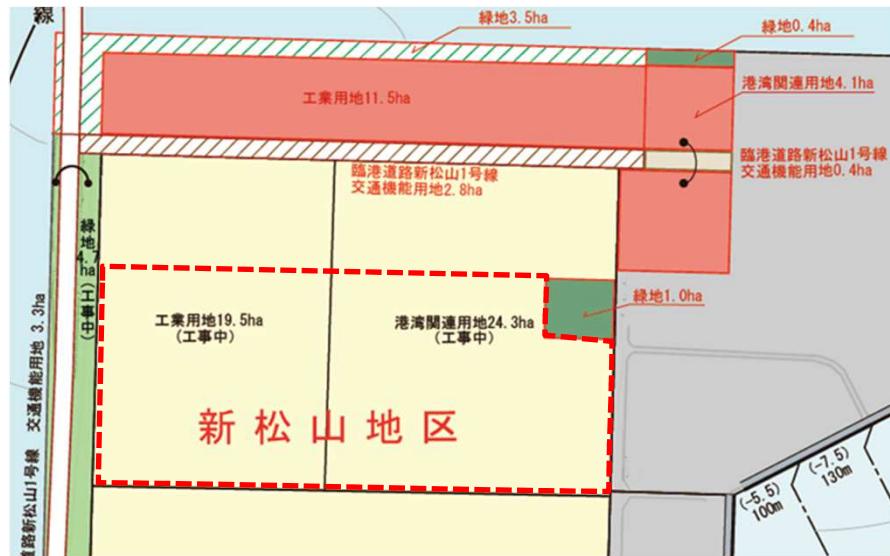
工業用地の確保 (15.2ha)

- ・分譲完了後、立地企業の土地利用計画が、全面積を利用して工場建設する計画になった事を確認したため、土地利用計画の変更を行い、併せて分区の変更を行う。港湾関連用地（商港区）を工業用地（工業港区）へ変更となる。

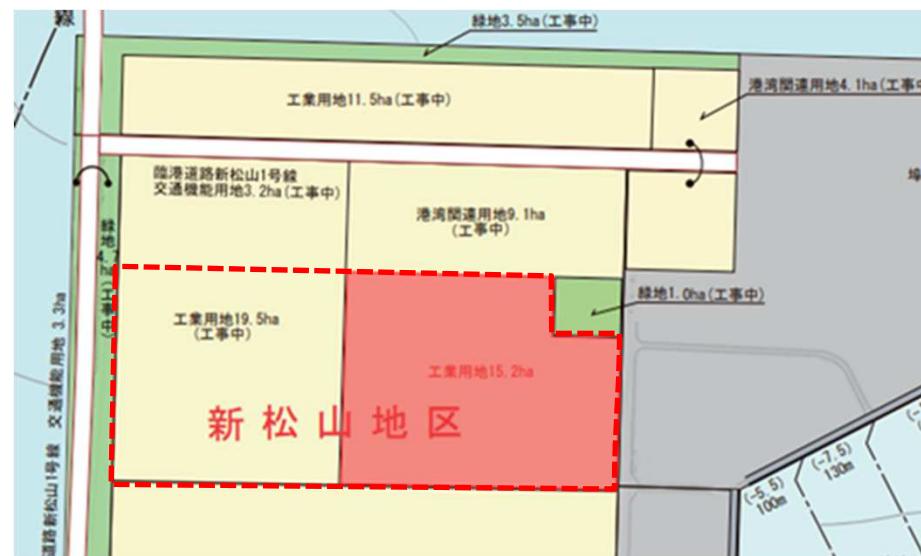
※ () 内は分区

港湾計画の変更内容（新松山地区）

【既定計画】



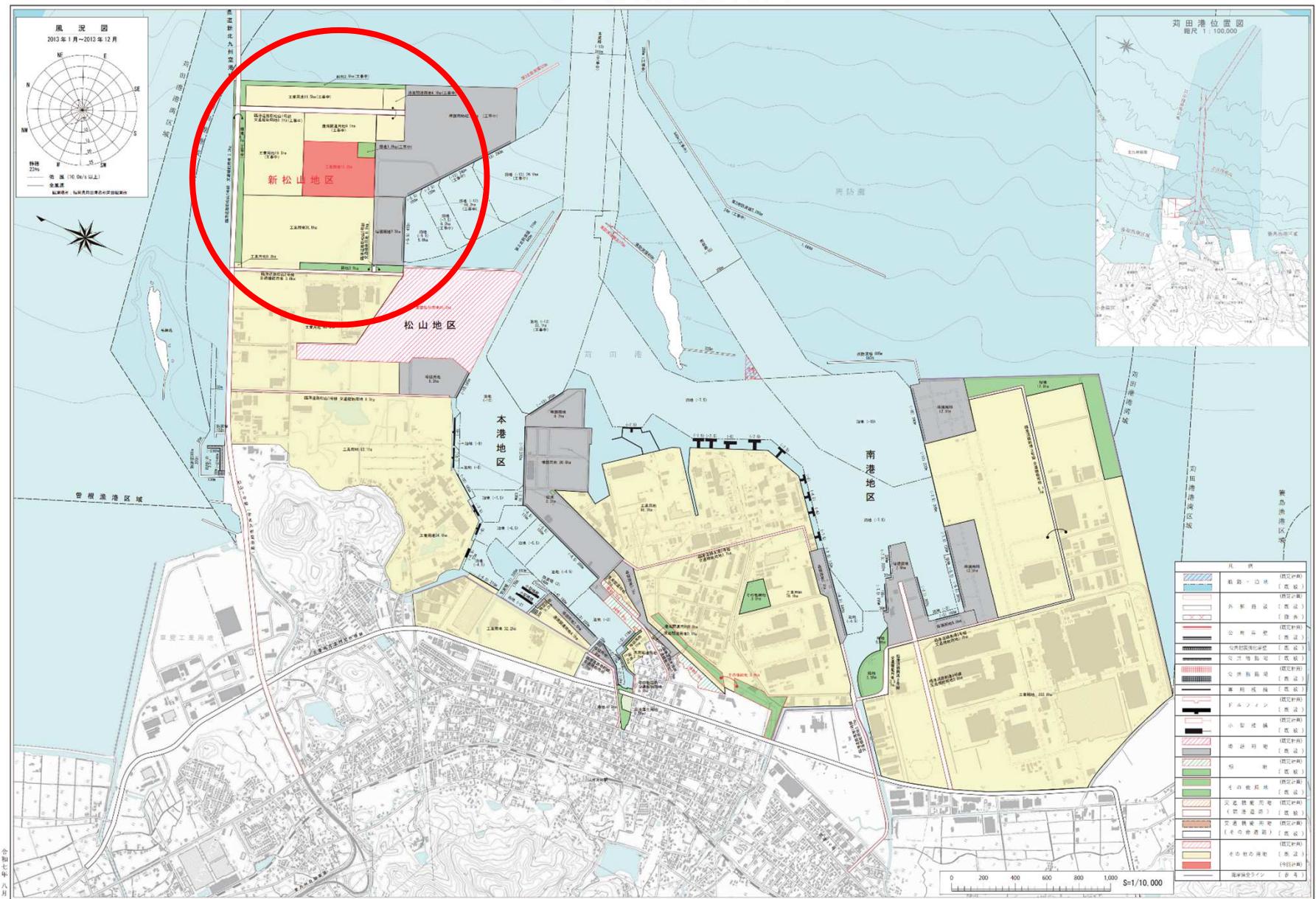
【今回計画】



地区名	変更前		変更後		変更内容	変更理由
	土地区分	規模	土地区分	規模		
新松山地区	港湾関連用地	24.3ha	港湾関連用地	9.1ha	15.2ha 減	土地需要の変化に対応するため、土地利用計画を変更する。
	工業用地	0ha	工業用地	15.2ha	15.2ha 増	
	合計	24.3ha	合計	24.3ha	±0	

変更後の港湾計画図（案）

苅田港港湾計画図



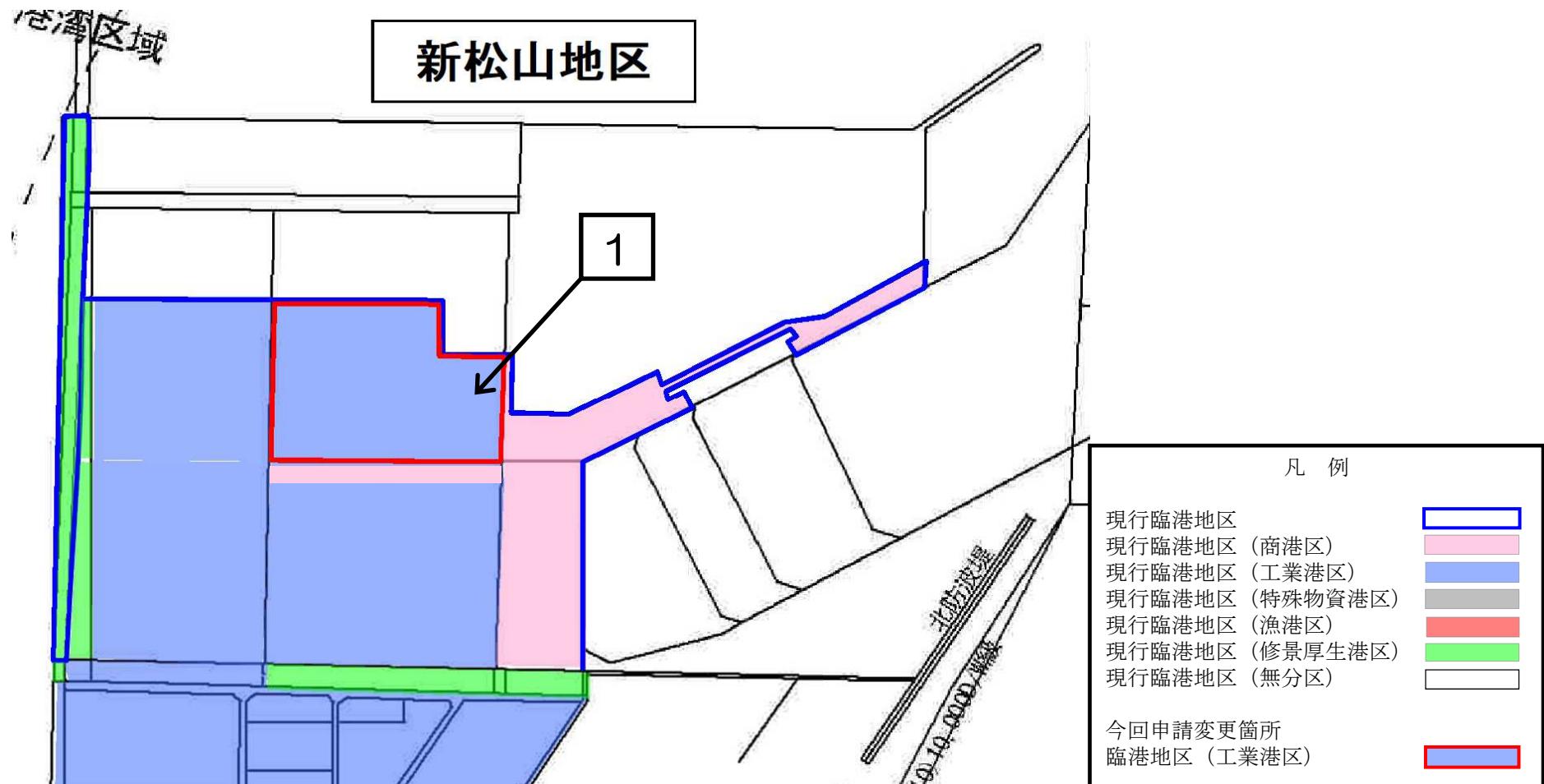
【議案2】

苅田都市計画臨港地区内の

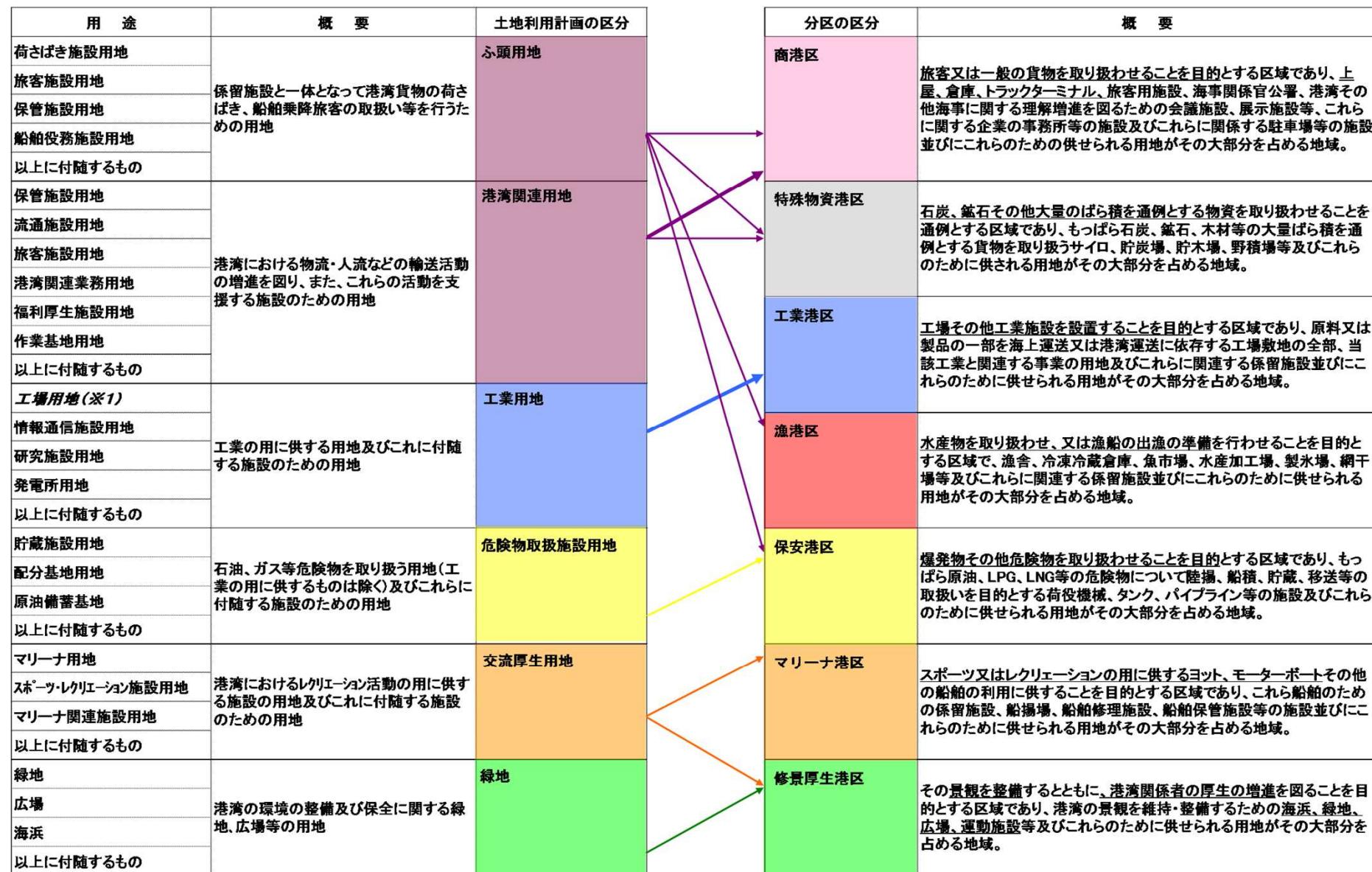
分区の変更

変更後の分区指定図（案）

	位置	変更内容
1	新松山地区 苅田町新松山2丁目	15. 2haを商港区から工業港区に変更する



「港湾計画における土地利用」と「分区」との関係



※1 今回の指定する「工業港区(15.2ha)」に該当

II 環境保全

II-2 生態系や景観に配慮した港湾環境の形成

施策 II-2①

希少種のための環境保全

ONE Health
生物多様性の保全

希少種の生息環境を把握し、保全に努める。荏田港新松山地区(現在造成中)等に飛来する渡り鳥に対する環境保全措置により、希少種のための環境保全を図る。

背景等

- 荏田港周辺には様々な希少種が生息しており、埋立造成過程で出現した湿地では、渡り鳥(クロツラヘラサギ等)の飛来が確認されている。クロツラヘラサギはIUCNレッドリストで絶滅危惧種に指定されており、保全すべき希少な鳥類として位置付けられている。

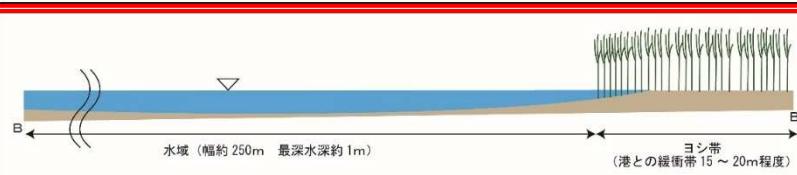
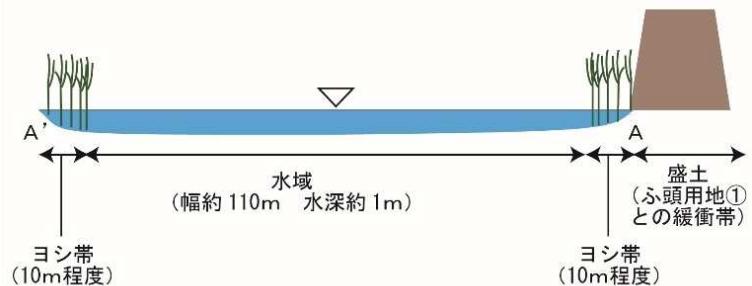
施策内容

- 希少種の生息環境を把握し、その保全に努める。
- 松山地区に人工干潟を新たに造成し、現在の飛来地の代替地として活用するとともに、自然と工業の共存共栄を図る。暫定措置として、代替候補地①、代替候補地②を整備し、その後の状況に応じて柔軟に生態系の保全を図る。



希少種(渡り鳥)の環境保全処置

代替候補地① ※代替候補地②の整備までの暫定対応



代替候補地②

